
令和6年度（2024年度）活動報告書

このたび、令和6年度（2024年度）の熊本県博物館ネットワークセンターの活動報告書を取りまとめましたので、御覧いただければ幸いです。

熊本県博物館ネットワークセンターは、平成27年（2015年）4月の設置以来、県内博物館等との連携を軸として、「いつでも・どこでも・だれでも」博物館活動に親しんでもらえるよう、共同企画展の開催、収蔵資料の情報共有化を図るための「熊本県博物館資料データベース」の運用・公開など、「熊本県総合博物館ネットワーク構想」の実現に向けて取り組んで参りました。また、企画展示・移動展示の開催、講座やフィールドミュージアムの実施、ミュージアムパートナーズクラブへの支援など、県民の皆様が熊本の歴史や自然を体感できる取り組みを進めてきました。

令和6年度は、令和6年度より4ヵ年計画で策定された博物館ネットワークセンター中期計画の初年度となりました。この計画の重点項目として、多様な主体との連携によって地域の活力向上に資すること、社会の状況にかかわらず世界に届く積極的な情報発信を挙げています。それを実現すべく、これまで移動展示や講師派遣、各種講座等において連携をしてきた県内の博物館等施設や学校に加え、福祉施設でも移動展示を行うなど、連携の幅を広げて参りました。

さらに、博物館ネットワークセンターは新たにSNSのアカウントを開設し、博物館の活動やイベント等の情報を積極的に発信いたしました。これまでのウェブサイトに加えてSNSを活用したことにより、多様な情報をリアルタイムで提供することで、県民の皆様との繋がりを深めることができました。

令和5年4月に改正された博物館法において、地域の多様な主体と連携して文化観光等の活動に取り組むことで、地域の活力向上に寄与することが努力義務化されています。博物館ネットワークセンターは令和6年10月に新設された観光文化部に組み込まれたことから、県内の博物館と観光を結びつける大きな役割を担っていると考えています。これまで構築した県内各地域の博物館施設等との連携を深化しつつ、地域の活性化に繋げられる魅力的な博物館活動の内容充実を図っていきたいと考えております。

今後とも、県内博物館の活性化と、県内どこに住んでいても博物館活動に参加・体験できる環境づくりを目指して取り組んで参りますので、御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和7年（2025年）6月2日

熊本県博物館ネットワークセンター

所長 山瀬 佳規

目次

1	展示活動	
(1)	企画展示	1
(2)	移動展示	8
(3)	縣市連携展示「熊本のいきものたち」	10
(4)	博物館ネットワークセンター阿蘇展示室	12
2	情報発信活動	
(1)	熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト	13
(2)	熊本どこでもミュージアム	13
(3)	出版物	14
(4)	SNS開設	16
3	研修活動	
(1)	総合プロデューサー育成研修	17
(2)	スキルアップ研修	17
(3)	教員のための博物館の日 in 水俣	18
4	学習支援活動	
(1)	フィールドミュージアムへ飛びだそう！	20
(2)	熊本を知る講座	22
(3)	くまもとキッズミュージアム in 玉名	24
(4)	移動体験教室・講師派遣	25
(5)	団体利用	26
(6)	博物館実習・職場体験	27
(7)	熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度	27
(8)	熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ	27
(9)	学校移動展示用パッケージ	29
(10)	図書館・公民館等移動展示用パッケージ	29
(11)	歴史分野授業用パッケージ	30
(12)	リレー講演会	30
5	資料収集整理活動	
(1)	熊本県博物館資料データベース事業	31
(2)	熊本県学芸員等人材データベース事業	31
(3)	資料収集・整理状況	32
6	資料	
(1)	令和6年度(2024年度)職員一覧	38
(2)	熊本県博物館ネットワークセンター条例	39
(3)	施設平面図	43
(4)	熊本県博物館ネットワークセンターへのアクセス	44

1 展示活動

(1) 企画展示

① ちいさなタネのおおきなチカラ

開催期間 令和6年(2024年)5月21日(火)～8月4日(日)

観覧者数 1037人

展示点数 102点

担当 松藤加代子、前田哲弥、安田晶子

(展示趣旨)

植物の種子、および果実や散布体は繁殖を担う器官であり、より確実な繁殖のための特徴が多く備わっている。それらの特徴を、「植物のタネがもつチカラ」と表現し解説することを通して、植物の多様な繁殖戦略を紹介した。また、私たちの生活とタネとのかかわりを紹介し、植物が私たちを含めた地球全体の生物の生命活動を支えているだけでなく、私たち人間の生活も支えていることを示し、自然への理解と愛着を育むことを目的とした。

(展示構成と主な展示資料)

(ア) タネとは

植物の種子、タネ(用語)の解説。

(イ) そだつチカラ 種子の構造

種子の構造(胚、胚乳)と役割、休眠性、埋土種子発芽実験の紹介。

(主な展示資料)

カキノキ、ヤハズエンドウ、ザボン、シラン、メヒルギなどの標本

(ウ) ひろがるチカラ 種子散布の仕組み

散布様式とタネの構造について紹介。

(主な展示資料)

動物を利用: オオオナモミ、センダン、ヤドリギ、コナラ、

オニグルミ、ホトケノザなどの標本

風や水を利用: イロハモミジ、ジュズダマ、ココヤシ、トチノキなどの標本

自力散布: カタバミ、ムラサキケマン、ゲンノショウコなどの標本

(エ) ささえるチカラ

動物の食料となるタネ、人間の食を支えるタネの紹介。

(主な展示資料)

ボロボロノキ、エノコログサ、ヒシ、イネなどの標本

ベニツチカメムシ、ネズミ類、ヒシクイ、タヌキなどの標本

(オ) そだつチカラをたいけん!!

タネの芽生えを紹介。

(主な展示資料) ナツメヤシ、カキノキ、アボカド、スイカ、リンゴなど

関連企画

「タネをかんさつしよう」ワークショップ

会場 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム

開催期日 令和6年(2024年)7月28日(日)

参加人数 20人(小学生)

担当 松藤加代子、前田哲弥、安田晶子



② 日中戦争と三人の兵

開催期間 令和6年(2024年)8月14日(水)～11月4日(月)

後援 熊本県教育委員会 宇城市教育委員会

観覧者数 768人

展示点数 72点

担当 後藤鮎子、堤将太、古澤廣大



(展示趣旨)

1937年(昭和12年)の盧溝橋事件をきっかけとして起こった日中戦争に従軍した三人の兵の日記や所持品が本センターに所蔵されている。戦地での生活の様子や心情が細かく記されている資料もあり、兵士の日常をうかがい知ることができる貴重な資料である。また、資料からは、戦況の変化による生活や心情の変化も読みとることができる。

日中戦争に従軍した熊本県出身の三人の兵に関する資料をとおして、戦地における日常と非日常、そして、その後に焦点をあてることで、戦争に関わる人々にそれぞれの生活や様々な思いがあることを意識してもらい、戦争と平和について考える機会になることを目的とする。

(展示構成と主な展示資料)

はじめに

日中戦争の概要を資料とともに紹介。

(主な展示資料)

昭和六年乃至九年事変従軍記章、支那事変第一年戦闘経過図、
[支那事変従軍記章]、国境事変従軍記章

(ア) 岩永武男大尉

軍人になる前の教員時代の様子と、軍人として日中戦争に従軍した際の日常について紹介。

(主な展示資料)

NOTE BOOK、講習修了証明書、一年志願兵証書、引揚証明書、駐満記念
写真帖、[写真](ミルレル兵営)、[写真](兵士ほか)、[写真](野砲24
隊炭坑見学記念)、[写真](髪摘)など

(イ) 安藤登志夫少佐

安藤氏が記した日記から読みとれる日中戦争での日常を紹介するとともに、従軍前後の様子も紹介。

(主な展示資料)

日記類、日本陸軍軍服(乗馬用短袴)、出動日誌、[感謝状]、軍人生活
の思い出、[太平洋戦争関係写真]、[日中戦争関係写真]、在営記念
(戦争関係写真)など

(ウ) 安藤幸男准尉

日中戦争に従軍した際の様子を記録から読みとり、戦死後の遺族の動向についても紹介。

(主な展示資料)

軍隊手牒、[書簡](安藤経遠宛保定攻略など)、[戦闘日記断簡]、
[戦傷見舞状](細川護立)、合祀通知書、案内状(靖國神社招魂社・
臨時大祭)、遺族章(靖國神社臨時大祭)、靖國神社臨時大祭遺
族行動一覧表など



おわりに

(主な展示資料)

支那事變全局要圖

トピック展示

海軍として従軍した猿渡安氏の書簡や写真を中心に、上海事変前後の人々の様子を紹介。

(主な展示資料)

[書簡] (上海陸戦隊転任ほか)、[書簡] (事変直前の上海の様子)、[書簡] (事変直後の上海の様子)、日章旗、写真 (上海陸戦隊司令部ほか)、写真 (上陸した陸戦隊ほか) など



関連企画

展示解説

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター 展示室

開催期日 令和6年(2024年)9月28日(土)

参加人数 20名

担 当 後藤鮎子、堤将太



③ MPC (ミュージアムパートナーズクラブ) くまもとの大地の成り立ち～その10年間の記録～

開催期間 令和6年(2024年)11月12日(火)～令和7年(2025年)2月2日(日)

共 催 ミュージアムパートナーズクラブ「くまもとの大地の成り立ち」

後 援 熊本県教育委員会/宇城市教育委員会

協 力 熊本博物館/熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター/(公財)阿蘇火山博物館/天草市立御所浦恐竜の島博物館/霧島ジオパーク推進連絡協議会

観覧者数 835人

展示点数 196項目 375点

(うち、会員個人が所有する標本:44項目 223点)

担 当 高田聖也、廣田志乃



(展示趣旨)

ミュージアムパートナーズクラブ「くまもとの大地の成り立ち」は、平成24年度(2012年度)～25年度(2013年度)年度の地質学講座を端緒として平成26年(2014年)に発足したクラブであり、その活動は昨年10周年を迎えた。「くまもとの大地の成り立ち」では、偶数月の第1日曜日に行われる県内外の巡検会をはじめとして、会員同士が個別に情報交換や野外調査等を行いながら、当センターの資料や地質データの収集に寄与してきた。そこで、およそ10年間の活動によって得られた当センターの資料や調査成果、会員個人が所有する標本を通して各地の地質を紹介し、広く県民に会の活動や地質そのものへの興味を持ってもらうことを目的とした。

(展示構成と主な展示資料)

(ア) 活動記録

年表や地図など



(イ) 県北 (阿蘇も含める)

山鹿市鹿北町の変斑れい岩、小岱山の巨晶花こう岩、岳間溪谷の花こう岩、木葉山の結晶質石灰岩、山鹿市菊鹿町相良層の植物化石、八方ヶ岳の安山岩、小国町山甲川流紋岩の黒曜岩、小国町杖立層の植物化石、阿蘇市坂梨流紋岩の黒曜岩など

(ウ) 県央 (八代市も含める)

益城町城山銅山のキースラーガー、甲佐町のミグマタイト、美里町のアンモナイト、水昌山の方解石、宇城市松橋町のコランダムと竹葉石、美里町の氷川トータル岩、矢山岳の石灰岩、八代市東陽町の種山鉱山の石、八代市泉町の輝岩および透輝石、河俣川の青色片岩、八代市上宮林道の貝化石など

(エ) 県南 (天草も含める)

芦北町吉尾銅山のスラッジ、芦北町の鳥の巣石灰岩、球磨川のメガロドン石灰岩、水俣市肥薩火山区の安山岩、人吉市段塔のチャート、横谷峠の水晶、市房山の花崗閃緑岩と電気石、人吉市桑木津留川の黄鉄鉱、天草下島の高浜変成岩、天草市御所浦島の貝化石、上天草市柵島のアンモナイト化石とイノセラムス化石、苓北町富岡半島のリソイダイトと電気石、天草下島権現山の玄武岩など

(オ) 県外

愛媛県関川の河原の石、高知県室戸岬の斑れい岩、高知県足摺岬のラパキビ花こう岩、大分県竹田市の火砕流堆積物、佐賀県唐津市高島の苦土カンラン石など

(カ) 熊本地震の記録

益城町堂園の断層トレンチの剥ぎ取り標本 (熊本博物館所蔵)

(キ) 会員コーナー

会員が収集した標本、会員有志や個人の活動(金峰山調査、個別の野外活動)で採取した標本、論文など

関連企画

令和6年度第10回くまもとサイエンスカフェ (展示解説会)

共 催 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター減災型社会システム部門

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター展示室および学習ルーム

開催期日 令和6年(2024年)12月14日(土) 午前10時~12時

参加人数 44人

担 当 高田聖也、廣田志乃

(内容)

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター減災型社会システム部門が中心となって開催する「くまもとサイエンスカフェ」の一環として、展示解説会を行った。座学によるミュージアムパートナーズ制度と「くまもとの大地の成り立ち」の紹介、展示内容の解説の後、参加者は展示室に移動して展示見学を行った。



④ ちょっと昔の暮らし探検

開催期間 令和7年(2025年)2月11日(火)～3月16日(日)

後援 熊本県教育委員会、宇城市教育委員会

観覧者数 1099人

展示点数 132点

担当 國本信夫、樋口和紀、迫田久美子



(展示趣旨)

昭和30年代後半から40年代にかけての高度経済成長の下、社会はこれまでにないスピードで変化した。人々の生活も、様々な場面で機械や電化製品が使用されるようになり、生活のあり方や感覚も変化していった。かつては普通に使われていた暮らしや仕事の道具の中から、小学校3年生社会科で取り上げられる道具と暮らしのうつりかわりに対応して、子ども達に道具を通して昔の暮らしの様子と暮らしの変化をわかりやすく伝えることを目指した。

(展示構成と主な展示資料)

(ア) 食事と暮らし

水道、家電製品、ガス製品の普及により台所は大きく変わり、買い物の仕方や食事のメニューなど毎日の食生活にも大きな影響を与えたことを、食に関するさまざまな視点と関連する道具から紹介。

(主な展示資料)

ちゃぶだい

火吹竹、ガスコンロ、羽釜、電気炊飯器、箱膳、卓袱台、石臼

(イ) 住まいと暮らし

水道、家電製品、ガス製品の普及により家の中で火を燃やすことはほとんどなくなった。それは住宅そのものにも影響を与えたことを、住まいに関するさまざまな視点と関連する道具から紹介。

(主な展示資料)

とうちん

こたつやぐら

行灯、提灯、簾、陶枕、火鉢、行火、電気行火、炬燵檜、湯たんぽ

(ウ) 衣服と暮らし

水道、家電製品、ガス製品の普及は、洗濯など水仕事にも大きな影響を与えた。また石油由来の新素材の登場は衣服に対する考え方にも大きな影響を与えた。それら水回りや衣服に関する変化を、さまざまな視点と関連する道具から紹介。

(主な展示資料)

麻の着物、木綿の着物、裁縫箱、足踏ミシン、釣瓶、手回し洗濯器

(エ) ふれあいコーナー

昔の道具の知恵や工夫、それらを使っていた頃の暮らしや人々の思いなどに触れる場として、実際に体験可能な資料を展示。

(主な展示資料)

かんとう

棹秤、黒電話、強盗

(特記事項) 団体見学 7団体、出前講座 5校

見学時には展示説明のほか、小学校の利用では、体験学習として天秤棒による水運び、洗濯板による洗濯、火熨斗によるアイロンがけなどを実施。



⑤ 動物調査のいろは

開催期間 令和7年(2025年)3月25日(火)～6月15日(日)

後援 熊本県教育委員会、宇城市教育委員会

協力 熊本野生生物研究会、ミュージアムパートナーズクラブ「貝類調べ隊」

展示種数 261種(写真含む)

担当 免田隆大、中菌洋行



(展示趣旨)

開発や気候変動などの様々な要因により、近年凄まじい勢いで生物多様性が低下している。身近な生き物たちの変化を感覚的に感じている人も多い中、それを可視化させるための糸口を示すことは一定の意義があるものと思われる。また、これまでそうした調査・研究を担ってきた大学や調査機関などは、何れも予算削減の煽りで調査の実施が難しくなっており、そうした意味でも市民レベルでの調査の需要は高まっている。動物の分類群ごとの調査方法や主な確認種を当センターの標本等を用いて紹介することで、熊本県に生息する動物や生物多様性へ関心を持つきっかけとなり、生物多様性保全への取組がさらに進むことを目的とする。

(展示構成と主な展示資料)

(ア) 動物調査あれこれ

動物調査の目的や分類群ごとの調査法の概要説明。

(イ) 淡水魚類の調査

淡水魚類の調査方法と調査道具、主な確認種の紹介。

(主な展示資料)

タモ網、投網、オイカワなど

(ウ) 底生動物の調査

底生動物(河川と干潟)の調査方法と調査道具、主な確認種の紹介。

(主な展示資料)

胴長、シャベル、ヤビーポンプ、ムラサキトビケラ、シオマネキなど

(エ) 哺乳類の調査

哺乳類の調査方法と調査道具、主な確認種の紹介。

(主な展示資料)

自動撮影カメラ、シャーマントラップ、バットディテクター、ニホンカモシカ、ヒメネズミ、ユビナガコウモリなど

(オ) 鳥類の調査

鳥類の調査方法と調査道具、主な確認種の紹介。

(主な展示資料)

双眼鏡、スコープ+三脚、マガモ、ツミなど

(カ) 爬虫類・両生類の調査

爬虫類・両生類の調査方法と調査道具、主な確認種の紹介。

(主な展示資料)

カニ籠、ニホンイシガメ、ニホントカゲ、カスミサンショウウオ、ニホンヒキガエルなど

(キ) 昆虫の調査

昆虫の調査方法と調査道具、主な確認種の紹介。

(主な展示資料)

捕虫網、ビーティングネット、ライトトラップ一式、プラカップ、アゲハ、セダカコブヤハズカミキリ、オオミズアオ、オオオサムシなどドイツ箱標本

(ク) 動物調査のススメ

身の回りの動物調査への誘いと熊本県内にある自然観察系団体の紹介。

(主な展示資料)

MPC、熊本野生生物研究会、日本野鳥の会熊本県支部、自然観察くまもとなどのチラシやパンフレット

関連企画

(1) 展示解説

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター 展示室

開催期日 令和7年(2025年)4月19日(土)

参加人数 2人

担 当 坂本祐輔、中菌洋行

(2) コウモリ調査を体験しよう

会 場 下江津湖 広木公園(熊本市東区広木町)

開催期日 令和7年(2025年)4月26日(土)

参加人数 28人

講 師 坂田卓司氏(熊本野生生物研究会)、天野守哉氏(熊本野生生物研究会)

担 当 坂本祐輔、中菌洋行

(2) 移動展示

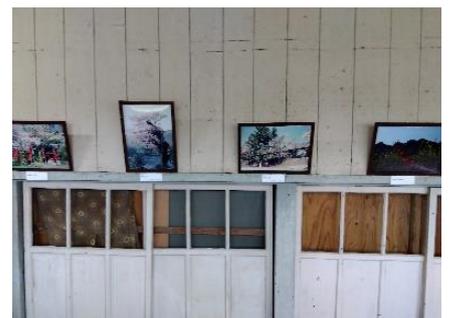
① 熊本の干潟の生き物

会 場 荒尾市 荒尾干潟水鳥・湿地センター
 開催期間 令和6年(2024年)5月31日(金)～9月29日(日)
 展示点数 パネル7点、鳥類写真15枚、甲殻類巣穴樹脂標本2点
 展示概要 熊本の干潟に生息する生き物について、パネルと写真、巣穴樹脂標本を用いて紹介する。
 協 力 日本野鳥の会熊本県支部(写真提供)、松浦弘氏(甲殻類巣穴樹脂標本提供)
 担 当 免田隆大、中菌洋行



② 第6回荒牧英男写真展 上色見ふるさとの四季

会 場 旧上色見小学校(阿蘇フォークスクール)
 (現:みんなの第三の居場所フレデリック)
 開催期間 令和6年(2024年)10月18日(土)～
 令和7年(2025年)3月19日(水)
 共 催 荒牧英男写真展実行委員会
 後 援 高森町、高森町教育委員会
 展示点数 37点
 展示概要 高森町上色見で写真を撮り続けた故荒牧英男氏が撮影した上色見の四季の美しさや魅力が伝わるカラー写真を展示し、上色見の四季折々の風景や人びとの営み、風物詩等を紹介した。
 担 当 國本信夫、樋口和紀、迫田久美子



③ 九州の活火山

会 場 宇城市立豊福小学校

開催期間 令和6年(2024年)9月20日(金)～10月18日(金)

展示点数 25点

展示概要 日本には111の活火山があり、そのうち50の活火山では24時間体制で観測が行われている。このことから、活火山は、日本で暮らすうえでは生活と切り離すことができないものであると言える。そこで、九州本島にある6つの活火山について、噴出物の展示と噴火活動や観測体制の解説をとおして、活火山を「正しく恐れる」ための展示を行った。

担 当 高田聖也、廣田志乃



④ 金峰山の地質

会 場 長洲町 金魚の館

開催期間 令和7年(2025年)1月7日(火)～2月5日(水)

後 援 長洲町

展示点数 47点

展示概要 熊本市の北西部から玉名市南西部にかけて分布する山地は金峰山(一ノ岳)、熊ノ岳(二ノ岳)、三ノ岳をはじめとする山の集合体であり、西山(せいざん)とも呼ばれて親しまれている。この金峰山は、長洲町民にとっても親しみのある山である。しかし、それらの山がかつて活動していた火山(金峰火山)であるということは、あまり知られていない。そこで、金峰山をはじめ周辺で採取した岩石を見ながら金峰火山の成り立ちを解説し、湧水や資源など生活との関連を踏まえて、西山のあまり知られていない一面を紹介した。

※平成30年度(2018年度)末(2019年3月26日～5月26日)に開催した企画展「金峰山の地質」の内容を元に再構成したものである。

担 当 高田聖也、廣田志乃



(3) 県市連携展示「熊本のいきものたち」

「熊本県博物館ネットワークセンター」67万点のコレクションの中から、生物分類ごとに選定された実物標本を用いて、熊本の自然環境と生物の多様性、生態系の豊かさを知る展示を行う。さまざまな生物の実物標本をできるだけ多く展示することで、実物に接する大切さを伝え、標本を見て観察することを通して、自然科学への興味の扉を開くきっかけとする。また、自然探究への興味・関心を高め、フィールドへと誘うことを目指す。

① 展示場所及び面積

展示場所：熊本博物館 2F 常設展示室

展示面積：286.75 m²

② 展示資料

区 分	展示資料種数	展示資料例
動物	哺乳類	39種 カモシカ、スナメリ、ニホンモモンガ
	鳥類	57種 クロツラヘラサギ、ヤマドリ、ホオアカ
	爬虫類	16種 アカウミガメ、ニホンマムシ、ニホントカゲ
	両生類	16種 カスミサンショウウオ、トノサマガエル
	魚類	47種 アリアケギバチ、ムツゴロウ、ウツボ
	昆虫類	425種 オオルリシジミ、ダイコクコガネ、サツマゴキブリ
	貝類	246種 タイラギ、イシカワギセル、マツカサガイ
	その他	31種 ハクセンシオマネキ、クルマエビ、ヒゴキムラグモ
植物	維管束植物	63種 スダジイ、ツクシネコノメソウ、ハナシノブ
	菌類	15種 ツエタケ、キニガイグチ、タマアセタケ
	藻類	19種 オキチモズク、クロメ、マクサ、ムカデノリ
合計	974種	

○ 哺乳類



○ 魚類



○ 昆虫類



○ 貝類



○ 維管束植物・藻類



○ 菌類



③ 県民活動紹介コーナー

県民の自然に親しむ活動を紹介するコーナーを設置。県民全体で自然や文化に親しむきっかけとなるように、ミュージアムパートナーズクラブの活動成果等を展示している。

○ 水俣芦北自然観察会 令和6年(2024年)9月～



○ MPC 大地の成り立ち 令和7年(2025年)3月～



④ フィールドへの誘い

熊本県を大きな博物館(フィールドミュージアム)として、県内各地域で観察される動植物や地質について紹介し、県民の自然に対する興味関心を引き出す。

○ 緑仙峡(山都町) 令和6年(2024年)6月～



○ 市房ダム(水上村) 令和6年(2024年)9月～



○ 上田浦～御立岬(芦北町) 令和6年(2024年)12月～



○ 一ツ目水源(山鹿市) 令和7年(2025年)3月～



(4) 博物館ネットワークセンター阿蘇展示室

平成31年3月17日(日)、阿蘇火山博物館2階に開設。当センター所蔵の資料を用いて、阿蘇を中心に熊本の自然や文化についての展示を行う。

① 阿蘇の水辺の生き物

開催期間 令和6年(2024年)2月7日(水)～6月26日(水)

展示点数 121点

展示概要 阿蘇は、6本の1級河川の源と、多くの湧水地を有し、豊富な水を誇る。ここには、チクシブチサンショウウオやタガメなど、貴重な動物たちも生息している。当センターが所蔵している標本の中から阿蘇の淡水域に生息している多様な生き物たちを紹介した。

担 当 免田隆大、中園洋行



② バックヤードに眠る熊本の鉱物

開催期間 令和6年(2024年)6月27日(木)～
令和7年(2025年)2月19日(水)

展示点数 37点

展示概要 鉱物はその場所の地質や地下構造を反映しており、熊本県産の鉱物を知ることによって、熊本の地質の特徴を知ることができる。また、かつて採掘していた鉱山の標本からは、熊本県内の地下に眠る資源が見えてくる。ここでは、熊本県博物館ネットワークセンター所蔵鉱物標本の中から、熊本県内の鉱山で採掘されたものや熊本県内が産地として有名なもの、熊本県内で名前が付けられた鉱物2種類を紹介した。

担 当 高田聖也、廣田志乃



③ 阿蘇の芸能

開催期間 令和7年(2025年)3月19日(火)～

展示点数 19点

展示概要 阿蘇地域では、その土地の歴史や自然文化を背景として成立した萩の草の瓢箪つきや阿蘇の虎舞、吉原の岩戸神楽等の民俗芸能が多くあり、阿蘇郡一带に多種多様なものが存在している。ここでは、熊本県博物館ネットワークセンターが所蔵する阿蘇地域の民俗芸能に関する写真を展示し、阿蘇地域の歴史・民俗文化をした。

担 当 樋口和紀、迫田久美子



2 情報発信活動

(1) 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト

事業目的

インターネット上で資料データやイベント情報等を提供し、参加館等における資料管理、調査研究、情報発信、県民の博物館活動への参加等を支援する。平成27年（2015年）10月より運用開始。

参加館等

37館、8市町村（令和7年（2025年）3月31日現在）

URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト
<https://kumamoto-museum.net/>



(2) 熊本どこでもミュージアム

事業目的

インターネット上で熊本の自然と文化の紹介、県内博物館等施設の紹介、実験・創作・観察方法などの紹介を視聴できるサイトを「熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト」内に作成し、コロナ禍において活動が制限される状況下でも、いつでも、どこでも博物館を身近に感じることができる機会を提供する。令和3年3月より運用開始。

事業内容

「バーチャルミュージアム」、「ミュージアムをのぞいてみよう」、「できた！みつけた！」の3つの項目で構成。それぞれに県内博物館等各館が記事を投稿することができる。

①バーチャルミュージアム

熊本県内ミュージアムが自然や文化の魅力について発信
（登録記事 63件）

②ミュージアムをのぞいてみよう

熊本県のミュージアムについて発信（登録記事 8件）

③できた！みつけた！

自宅でできる実験・創作の紹介や熊本県内のおすすめフィールドについて発信（登録記事 26件）

※登録記事数は、令和7年（2025年）3月31日現在。



URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト内「熊本どこでもミュージアム」
<https://kumamoto-museum.net/kumadoko>



(3) 出版物

① 広報誌（熊本県博物館ネットワークセンターだより「熊本の自然と文化」）

(ア) 58号

発行日 令和6年（2024年）7月11日（火）

掲載内容

[イベント情報] 企画展、フィールドミュージアムへ飛びだそう！

[資料紹介] ブンブクチャガマ科のウニ化石 *Linthia* sp. (地学)

飯籠と蝸帳 (民俗)

アズキカワザンショウ *Pseudomphala miyazakii* (カワザンショウガイ科) (動物)

ココヤシ *Cocos nucifera* (ヤシ科) (植物)

出動日誌 (嘉島町安藤家資料) (歴史)



(イ) 59号

発行日 令和6年（2024年）10月24日（木）

掲載内容

[イベント情報] 企画展、くまもとキッズミュージアム in 玉名、フィールドミュージアムへ飛びだそう！

[資料紹介] 靖国神社臨時大祭関係資料 (歴史)

黄鉄鉱 (地学)

釣瓶 (民俗)

シオマネキ *Tubuca arcuata* (スナガニ科) (動物)

タコノアシ *Penthorum chinense* (タコノアシ科) (植物)



(ウ) 60号

発行日 令和7年（2025年）3月10日（月）

掲載内容

[イベント情報] 企画展、博物館ネットワークセンター公式 SNS の開設、博物館ネットワークセンターの学習支援活動、展示活動

[資料紹介] ハナハタザオ *Dontostemon dentatus* (アブラナ科) (植物)
「ガーゼ製布マスク」(新型コロナウイルス感染症関連資料) (歴史)

漣痕 (リップルマーク) ripple marks (地学)

羽釜 (民俗)

オオオサムシ *Carabus (Ohomopterus) dehaanii* (オオサムシ科) (動物)



② 熊本県博物館ネットワークセンター紀要 第5号

※博物館ネットワークセンターホームページに掲載

発行日 令和7年(2025年)3月21日(金)

掲載内容 熊本県の自然、文化に対する研究の発表

【原著論文】

- 田中均 他：熊本県秩父帯下部白亜系今泉川層の層序と二枚貝化石相
- 一色華子 他：山中地溝帯東域中ノ沢地域から産出した下部白亜系二枚貝化石群集について
- 安田晶子 他：粘着テープを使用したさく葉標本に確認された劣化状態とその傾向
- 竹永昂平：熊本県出土の権衡資料と傾向について

【短報】

- 安田雅俊 他：祖母山系(熊本県高森町)における地上性小型哺乳類の捕獲調査
- 永松允積 他：花崗岩質岩石の真砂土に含まれるジルコンの簡易分離方法
—玉名花崗閃緑岩と筒ヶ岳花崗岩の真砂土を使って—

【雑録】

- 後藤鮎子：「教員のための博物館の日」—博物館ネットワークセンターの取り組みと今後の展開—
- 前田哲弥：熊本県博物館ネットワークセンターの植物分野収蔵資料概説1.
標本の採取年からみた特色と課題
- 安田晶子 他：地域博物館—大学連携による亜種キュウシュウフクロウ仮剥製作製をととした人材育成および学術研究活動
- 吉村りか：ホネホネサミット2024 参加報告
- 赤司萌香：ホネホネサミット2024@しずおかを終えて
- 廣田志乃 他：ミュージアムパートナーズクラブ くまもとの大地の成り立ち～その10年間の記録～
- 桂輝雄：ジオパークぶらり旅日記
- 村上幸奈：研修事業を活用した地域の文化財保護活動について—美術工芸品(彫刻)を例に—
- 樋口和紀：令和6年能登半島地震文化財レスキューの取り組み

【資料紹介】

- 堤将太 他：「秋岡吉左衛門覚書 其ノ三」

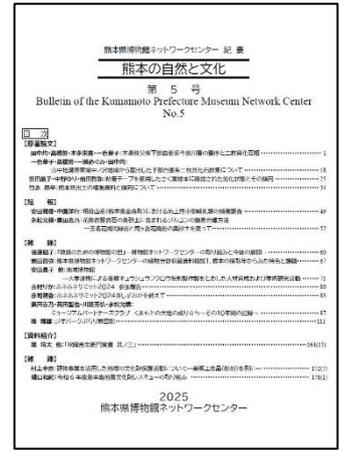
③ 熊本県博物館情報誌「Museくまもと」

※博物館ネットワークセンターホームページに掲載

(ア) vol.11

発行日 令和6年(2024年)9月27日(金)

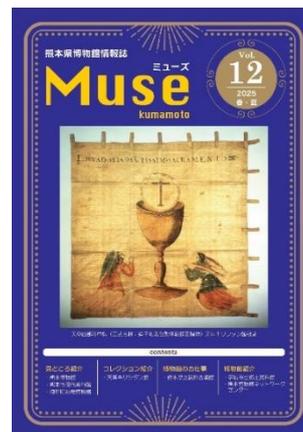
掲載内容 [見どころ紹介] つなぎ美術館、玉名市立歴史博物館ころぽア、天草市立本渡歴史民俗資料館
[コレクション紹介] 熊本洋学校教師館(ジェーンズ邸)
[博物館のお仕事] 不知火美術館
[博物館紹介] 上天草市歴史資料館、古代の風・黒の蔵(多良木町埋蔵文化財等センター)
[展示・イベント案内] 29館



(イ) vol.12

発行日 令和7年(2025年)3月21日(金)

掲載内容 [見どころ紹介] 御船町恐竜博物館、熊本博物館、
熊本市現代美術館
[コレクション紹介] 天草キリシタン館
[博物館のお仕事] 装飾古墳館
[博物館紹介] 博物館ネットワークセンター、
宇城市郷土資料館
[展示・イベント案内] 31館



(4) SNS開設

令和7年(2025年)1月30日より、X、Facebook、Instagramを開設。博物館ネットワークセンターのイベントや収蔵資料、取り組みなどについて発信している。

X アカウント ID : @kumamoto_mnc



博物館ネットワークセンター
SNS アイコン

Facebook アカウント名 : 熊本県博物館ネットワークセンター



Instagram アカウント ID : @kumamoto_mnc



3 研修活動

(1) 総合プロデューサー育成研修

① 目的

高い企画能力を持ち、効果的なプロモーション活動や広報活動が行える総合プロデューサー的な能力を有する学芸員等の育成。

② 研修会

○第1回 「身体と感覚と好奇心～他分野・多分野のワークショップ」

主催 熊本県博物館ネットワークセンター
期日 令和6年(2024年)6月14日(金)
場所 合志市役所総合センターヴィーブル内会議室
参加者 34名
講師 大分県立美術館 学芸企画課教育普及室
室長 榎本寿紀氏

内容 学校と博物館が連携する事業の企画や進め方、博物館が担う教育的な役割の重要性、教育普及活動における新たな視点や実践例などについて考える。



○第2回 「「さわる文化」が拓く共生社会の未来—ユニバーサル・ミュージアムの実践から—」

主催 熊本県博物館ネットワークセンター
期日 令和6年(2024年)11月27日(水)
場所 熊本県博物館ネットワークセンター学習ルーム
参加者 19名
講師 国立民族学博物館 人類基礎理論研究部
教授 広瀬浩二郎氏

内容 施設のバリアフリー化のみならず、展示方法や見せ方にもおよぶ博物館におけるユニバーサルデザインの考え方を理解・共有するとともに、各館における実践につなげていく。



(2) スキルアップ研修

① 目的

講座・実習をとおし資料保存、展示技術、展示評価等の技能向上、及び各博物館の取組の紹介や共同事業などに係る意見交換会をとおし、県内博物館の運営力向上を図る。

② 研修会

○第1回 「文化財害虫の特徴と九州国立博物館における I PMの取り組み」

主催 熊本県博物館ネットワークセンター
期日 令和6年(2024年)11月27日(水)
参加者 18名
講師 九州国立博物館学芸部博物館科学課
研究員 渡辺祐基氏

内容 文化財害虫の特徴を学び、九州国立博物館での取り組みを基に、資料保存等についてのスキルアップを目指す。



○第2回 教育庁教育総務局文化課主催 令和6年度(2024年度) 熊本県文化財保護行政担当者研修
「文化財防災(令和6年度能登半島地震文化財レスキュー報告編)」

主催 熊本県教育庁教育総務局文化課
期日 令和7年(2025年)2月14日(金)
場所 熊本県博物館ネットワークセンター
学習ルーム
参加者 16名
講師 熊本県教育庁教育総務局文化課 課長補佐 帆足俊文 氏
熊本県博物館ネットワークセンター 主任主事 樋口和紀 氏
熊本県教育庁教育総務局文化課 学芸員 村上幸奈 氏
熊本県教育庁教育総務局文化課 学芸員 丸山大輝 氏



内容 「令和6年能登半島地震」に際して、独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センターは、文化庁受託事業「令和6年被災文化財救援等事業」を実施している。本研修では、同事業に参加した職員からの報告を受けたのち、県内の文化財防災の今後について考える意見交換会(ワークショップ形式)を実施する。

○第3回 「文化財の写真撮影について」

主催 熊本県博物館ネットワークセンター
期日 令和7年(2024年)3月6日(木)
場所 熊本県立美術館
文化交流室及び本館1階第1展示室
参加者 16名
講師 熊本県立美術館主任学芸員
萬納恵介 氏



内容 文化財の写真撮影において必要な知識や機材のそろえ方、美術館内部や山間のお堂などの場面に応じた撮影事例を学びスキルアップを目指す。

(3) 教員のための博物館の日 in 水俣

① 目的

博物館等と学校との連携を図る必要があることから、教職員を対象とした研修会を通して、博物館活動に興味・関心や親近感を持ち、授業で活用できる学習資源として認識してもらう。

② 研修会

主催 熊本県博物館ネットワークセンター、熊本県環境センター、水俣市立水俣病資料館
共催 国立科学博物館 (公財) 日本博物館協会
後援 文部科学省、熊本県教育委員会、水俣市教育委員会、熊本県博物館連絡協議会
協力 天草市立御所浦恐竜の島博物館、熊本県立美術館(本館)、熊本博物館、くまもと文学・歴史館、清和文楽館、御船町恐竜博物館、水俣病歴史考証館、リデル、ライト両女史記念館、歴史公園鞠智城・温故創生館
期日 令和6年(2024年)8月8日(木)

場 所 熊本県環境センター、水俣市立水俣病資料館

参加者 40名

内 容 ○講演

「里山の小さな博物館における博学連携の実践：博物館と学校が共創する多彩な学び」

十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ学芸員 小林誠 氏

○水俣市立水俣病資料館による展示のポイント解説及び自由見学

○ワークショップ

①本物の化石に触れて、観察のコツをつかんじゃおう！（御船町恐竜博物館）、シルクスクリーンで水俣エコバッグづくり（水俣病歴史考証館）、はじめての清和文楽（清和文楽館）

②ワークシート「研究シート」を使った研究者体験（天草市立御所浦恐竜の島博物館）、ようこそ リデル、ライト両女史記念館へ（リデル、ライト両女史記念館）、歴史公園鞠智城の紹介（歴史公園鞠智城・温故創生館）

③知識や準備いらずにできる鑑賞教育～アートカードとワークシートの活用～（熊本県立美術館（本館））、「くまはくデジタルコンテンツ」のご紹介 Part.3～制作・体験、やってみよう！～（熊本博物館）、創作キットで俳句を作ろう！（くまもと文学・歴史館）

参加者は上記①、②、③の中からそれぞれ1つを体験する。（事前申し込み）



講演会



水俣病資料館見学



移動展示パッケージコーナー



本物の化石に触れて、観察のコツをつかんじゃおう！



シルクスクリーンで水俣エコバッグづくり



はじめての清和文楽



ワークシート「研究シート」を使った研究者体験



知識や準備いらずにできる鑑賞教育～アートカードとワークシートの活用～



創作キットで俳句を作ろう！

4 学習支援活動

(1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 県内各地で行う家族向け自然観察会

① 拡大鏡で見てみよう

開催期日 令和6年(2024年)6月16日(日)
場 所 山江村
山江村歴史民俗資料館から山田川河川敷
参加人数 23名
概 要 山江村歴史民俗資料館から山田川河川敷周辺に生育するさまざまな植物を拡大鏡で観察。
担 当 松藤加代子、前田哲弥、安田晶子



② 海辺の生き物を観察しよう

開催期日 令和6年(2024年)7月6日(土曜日)
場 所 天草市牛深町 茂串海岸
参加人数 22人
概 要 茂串海岸の磯にて、貝類など海辺の生き物の観察。
講 師 松本達也 氏
担 当 免田隆大、中菌洋行



③ 川原の石ころ図鑑をつくろう

開催期日 令和6年(2024年)7月27日(土)
場 所 五木村 白滝公園
参加人数 17名
概 要 河原の石を集めて観察し、種類を調べ、自分だけの石ころ図鑑を作った。
講 師 田中均 氏
担 当 高田聖也、廣田志乃



④ 植物体感ウォーク

開催期日 令和6年(2024年)9月8日(日)
場 所 天草市 五和歴史民俗資料館周辺
参加人数 8名
概 要 五和歴史民俗資料館周辺に生育するさまざまな植物を五感を使って観察。
担 当 松藤加代子、前田哲弥、安田晶子



⑤ 水辺の生き物を観察しよう

開催期日 令和6年(2024年)9月23日(月曜日・祝日)
場 所 菊池市七城町 鴨川河畔公園
参加人数 19人
概 要 鴨川河畔公園にて、水生昆虫など、水辺の生き物の観察。
担 当 免田隆大、中菌洋行



⑥ 海岸の砂から砂鉄を探そう

開催期日 令和6年(2024年)9月29日(日)

場 所 上天草市姫戸町 諏訪公園

参加人数 20名

概 要 海水浴場周辺の地層や砂浜について学び、海岸の砂から砂鉄を集めて磁石を用いた実験をした。

講 師 田中均氏

担 当 高田聖也、廣田志乃



⑦ 星空を観察しよう

開催期日 令和6年(2024年)10月11日(金)

場 所 熊本市南区域南町 熊本県民天文台

参加人数 66名

概 要 天体望遠鏡で、半月、土星、夏の大三角形の観察および写真撮影を行った。

講 師 艶島敬昭氏、中島尚氏、高田祐一氏

担 当 高田聖也、廣田志乃、樋口和紀



⑧ 落ち葉図鑑を作ろう

開催期日 令和6年(2024年)11月10日(日)

場 所 和水町 肥後民家村

参加人数 17名

概 要 肥後民家村の樹木を観察し、集めた落ち葉を用いて図鑑を作成。

担 当 松藤加代子、前田哲弥、安田晶子



⑨ 化石の観察をしよう

開催期日 令和6年(2024年)11月30日(土)

場 所 上天草市龍ヶ岳町 櫛島

参加人数 22名

概 要 専門家の解説を聞きながら海岸を歩き、白亜紀の地層や化石を観察した。

講 師 田中均氏

担 当 高田聖也、廣田志乃



⑩ 水辺の冬鳥を観察しよう

開催期日 令和6年(2024年)12月22日(日曜日)

場 所 熊本市 江津湖

参加人数 9人

概 要 熊本市江津湖にて、カモ類など水辺の冬鳥の観察。

担 当 免田隆大、中藪洋行



(2) 熊本を知る講座 熊本の自然や文化について学ぶ一般向けの講座

① 鳥類学講座

開催期日 令和6年(2024年)6月～令和7年(2025年)2月
偶数月第2土曜日(10月、12月は第1土曜日)

会場 第1回 熊本県博物館ネットワークセンター
第2回 熊本県博物館ネットワークセンター
第3回 雁回公園・雁回山第1展望所
第4回 荒尾干潟
第5回 立岡自然公園

受講人数 45人(計5回)

趣旨 生態系において重要な役割を果たしている鳥類について、県内産の種類を中心に生態や同定について学ぶ。

内容 第1回 「総論 鳥とは」
第2回 「熊本の鳥類」
第3回 「サンバの渡り観察」
第4回 「荒尾干潟の歴史、海辺の冬鳥・渡り鳥観察」
第5回 「水辺の冬鳥観察会」

講師 坂梨仁彦氏

担当 免田隆大、中藺洋行



② 地質学講座

開催期日 令和6年(2024年)7月～令和7年(2025年)1月
奇数月第2日曜日(11月のみ第1日曜日)

会場 熊本県博物館ネットワークセンター、野外

受講人数 17人(のべ53人)(計4回)

趣旨 中生代の化石について、午前の座学、午後の野外観察を通して学ぶ。

講師 田中均氏

担当 高田聖也、廣田志乃



③ ふるさとを学ぶ～宇土歴史講座

開催期日 令和6年(2024年)7月～11月 第3水曜日

会場 宇土市役所会議室、野外

受講人数 45人(計5回)

趣旨 宇土の多様な歴史や文化を再認識し、実際に体感することで、地域への愛着を深めるとともに、更なる興味、関心を引き出すことを目指す。

内容 第1回 古文書からみる宇土地域
第2回 宇土と石の関わり
第3回 宇土と水の関わり
第4回 フィールドワーク事前学習
第5回 フィールドワーク

講師 大浪和弥氏、芥川博士氏、荒川優斗氏
古澤広大、廣田志乃

担当 古澤広大、堤将太、後藤鮎子



④ 標本づくり講座

開催期日 令和6年(2024年)7月～令和7年(2025年)1月
第3日曜日

会場 熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 105人(計7回)

趣旨 動物、植物、岩石の標本づくりの基礎を学ぶ。

内容 第1回 ガイダンス、バックヤードを見てみよう
第2回 押し葉標本の作製
第3回 昆虫類の標本作製
第4回 川原の石を磨いてみよう
第5回 海藻標本をつくろう、押し葉標本の完成
第6回 哺乳類の歯のレプリカ作製
第7回 化石レプリカ作製

担当 松藤加代子、高田聖也、免田隆大、廣田志乃、前田哲弥、中菌洋行、安田晶子



⑤ 氷川流域の植物講座

開催期日 令和6年(2024年)8月～12月 第4土曜日

会場 矢山岳(八代市泉町)

受講人数 7人(計2回)

趣旨 氷川流域の自然をテーマに、自然観察に必要な技術や植物に関する基礎的な知識の習得を通して、季節ごとの自然観察の方法を学び、自ら身近な自然や生物に接する機会を作るきっかけとしてもらうことを目的とする。

内容 野外実習「植物観察の基礎と氷川流域の夏の植物」、「氷川流域の冬の植物」

担当 松藤加代子、前田哲弥



⑥ 熊本の祭り・行事と芸能

開催期日 令和6年(2024年)6月～令和7年(2025年)3月
第3土曜日

会場 大津町町民交流施設 オークスプラザ

主催 大津町教育委員会・熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 67人(計10回延べ人数)

趣旨 熊本県内で行われてきた季節ごとの祭りや行事を紹介しながら、その意味や内容、熊本の暮らしや伝承文化について学ぶ。

内容 第1回 6月15日(土) 暦と祭り行事
第2回 7月20日(土) 夏の祭と行事
第3回 8月17日(土) 熊本のお盆
第4回 9月21日(土) 秋の祭と行事1
第5回 10月19日(土) 秋の祭と行事2
第6回 11月16日(土) 冬の祭と行事
第7回 12月21日(土) 熊本のお正月
第8回 1月18日(土) 春の祭と行事
第9回 2月15日(土) 熊本の民俗芸能
第10回 3月15日(土) 祭りと年齢階梯

担当 國本信夫、樋口和紀、迫田久美子



(3) くまもとキッズミュージアム in 玉名

概要 楽しく遊びながら自然や伝統文化を体験する子ども向けのプログラム
 主催 熊本県博物館ネットワークセンター
 共催 玉名市教育委員会
 後援 熊本県教育委員会、熊本県博物館連絡協議会
 会場 玉名市民会館会議棟
 開催期日 令和7年(2025年)2月1日(土)
 参加者数 183人
 協力館 熊本県環境センター、玉名市立歴史博物館ころろピア、湯前マンガ美術館 那須良輔記念館、天草市立御所浦恐竜の島博物館、熊本県立装飾古墳館、熊本博物館、くまもと文学・歴史館、熊本県立美術館、御船町恐竜博物館



(体験プログラム)

・事前申込制プログラム

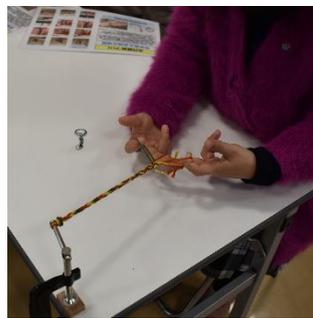
リ・ガラスアートをつくろう ①、古代組紐作り ②、風刺マンガアートカードで遊ぼう ③、「天草のお宝探検マップ 天草の石図鑑」を作ろう ④、古生物かるたで遊ぼう ⑤、箱の中に虹をつくろう ⑥、古代のアクセサリ「まが玉」をつくってみよう ⑦、創作キットで俳句をつくろう ⑧、多色版画で浮世絵はがきをつくろう ⑨

・事前申込不要プログラム

レプリカをつくろう ⑩、空飛ぶ種子 ⑪



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪

(4) 移動体験教室・講師派遣

① 移動体験教室

- 7月13日 合志市三つの木の家 (草木染め 38人)
- 7月22日 一般社団法人ストレングス (化石のレプリカをつくろう 20人)
- 7月29日 松橋第2学童保育所 (化石のレプリカをつくろう 34人)
- 7月30日 キッズダイアリー松原教室 (古銭レプリカをつくろう 11人)
- 7月31日 不知火学童保育所 (葉脈標本でしおりをつくろう 30人)
- 8月4日 南阿蘇村図書館 (貝がらクラフト 19人)
- 8月19日 豊福第1学童保育所 (貝がらクラフト 41人)
- 8月20日 河江学童保育所 (化石レプリカ 50人)
- 8月21日 豊福第2学童保育所 (貝がらクラフト 41人)
- 8月21日 南小国町社会福祉協議会 (石臼できな粉団子づくり 16人)
- 9月1日 清和小学校PTA2学年 (化石のレプリカをつくろう 34人)
- 9月11日 熊本市立山ノ内小学校 (古銭レプリカをつくろう 32人)
- 10月5日 山鹿市立大道小学校3年 (化石のレプリカをつくろう 34人)
- 10月26日 上天草市立今津小学校4年1組 (草木染め25人)
- 10月27日 荒尾市立図書館 (葉脈標本でしおりをつくろう 14人)
- 11月16日 合志楓の森小学校 (化石のレプリカをつくろう 50人)
- 11月30日 玉東町立木葉小学校 (空飛ぶ種子38人)
- 12月3日 熊本市立城南小学校 (化石のレプリカをつくろう 31人)
- 12月8日 西合志東小学校PTA (古銭レプリカをつくろう 27人)
- 12月20日 合志南ヶ丘小学校 (葉脈標本でしおりをつくろう 20人)
- 2月12日 熊本市立山ノ内小学校 (化石のレプリカをつくろう 26人)
- 2月16日 大江校区6B町内子ども会 (葉っぱの拓本しおり 15人)

② 講師派遣

- 4月 25日 西原村教育委員会（西原村寿生大学古文書講座 16人）
- 5月 4日 装飾古墳館（古銭レプリカをつくろう 45人）
- 7月 22日 熊本県立宇土高等学校
（探究の「問い」を創る授業研究会（歴史分野授業パッケージ活用）50人）
- 8月 3日 ひみつ基地ミュージアム（コウモリのひみつ展 ワークショップ 36人）
- 8月 24日 ひみつ基地ミュージアム（コウモリのひみつ展 ワークショップ 37人）
- 10月 25日 熊本県立宇土中学校（校内の樹木の観察 70人）
- 11月 9日 歴史公園鞠智城 温故創生館（動植物観察会 69人）
- 11月 15日 熊本県立宇土中学校（動植物・地質実地研修 70人）
- 1月 18日 エコ村伝承館（昆虫について講義 12人）
- 2月 13日 上天草市立中南小学校（昔の暮らし体験 20人）
- 2月 17日 宇城市立青海小学校（昔の暮らし体験 11人）
- 3月 5日 芦北町立大野小学校（昔の暮らし体験 12人）
- 3月 6日 八代市立八竜小学校（昔の暮らし体験 6人）
- 3月 11日 益城町立広安西小学校（昔の暮らし体験 127人）

(5) 団体利用

- 8月 6日 Switch宇土1班（貝がらクラフト 5人）
- 8月 9日 Switch宇土2班（貝がらクラフト 6人）
- 10月 17日 網田小学校（昔の道具体験 18人）
- 10月 30日 砥用小学校（昔の道具体験 24人）
- 12月 5日 県立教育センター（初任者研修（第13回） 6人）
- 12月 18日 豊福小学校（生活科の町探検 42人）
- 2月 12日 宇城市立小野部田小学校（昔の暮らし体験・展示見学 24人）
- 2月 18日 宇城市立豊野小学校（昔の暮らし体験・展示見学 33人）
- 2月 21日 宇城市立当尾小学校（昔の暮らし体験・展示見学 74人）
- 2月 27日 宇城市立豊川小学校（昔の暮らし体験・展示見学 37人）
- 3月 4日 宇城市立豊福小学校（昔の暮らし体験・展示見学 79人）
- 3月 6日 松橋西支援学級中学部（展示見学 28人）
- 3月 7日 宇城市立小川小学校（昔の暮らし体験・展示見学 24人）
- 3月 7日 宇城市立小川小学校特別支援学級（昔の暮らし体験・展示見学 5人）

(6) 博物館実習・職場体験

博物館実習

期 間 令和6年(2024年)9月2日(月)～9月9日(月)

実 習 生 熊本大学 5人

実習内容 資料整理及び登録業務、解説シートの作成等

9月2日 オリエンテーション、バックヤード見学、展示企画案作成

3日 資料整理・登録業務、資料写真撮影業務

4日 資料整理・登録業務、展示準備

5日 展示リスト及び展示パネル原稿等作成

6日 展示キャプション・パネル作成

7日 展示設営、展示解説、講評



(7) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナー制度

概 要 熊本県内の自然や文化に興味・関心を持ち、当センターと協働した「県民参加型の博物館活動」に主体的に携わる意志がある方を対象とした登録制度。活動内容は、(8)熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブを参照。

登録説明会 令和6年(2024年)5月25日(土)

登録者数 90人(令和6年度末)

(8) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ

① くまもとの大地の成り立ち

活動人数 36人

活動日 偶数月第1日曜日

活動内容 地層や岩石、鉱物、化石に関する現地見学会の実施



くまもとの大地の成り立ち

② 地学研究会

活動人数 8人

活動日 資料整理班：毎週金曜日

化石班：火～金曜日午前中に随時

活動内容 寄贈された標本やそれに関連する地学資料の整理、化石のクリーニングと同定など



地学研究会

③ 草木染めの会

活動人数 21人

活動日 毎月第2土曜日

活動内容 熊本の植物を使つての草木染め実践



草木染めの会

④ 松橋地域史調査クラブ

活動人数 7人

活動日 毎月第1土曜日

活動内容 宇城市が所蔵している秋岡家文書（秋岡吉左衛門・彦之丞覚書）の調査（読解）



松橋地域史調査クラブ

⑤ 雁回山の植物を観る会

活動人数 12人

活動日 毎月第2木曜日

活動内容 雁回山の植物相調査、標本作成



雁回山の植物を観る会

⑥ 貝類調べ隊

活動人数 11人

活動日 毎月第3土曜日

活動内容 県内各地の陸・海・淡水の貝類を調査、観察を行う。
必要に応じて採集し、名前を同定し、博物館ネットワークセンターへ情報提供を行う。



貝類調べ隊

⑦ 甲佐民具を学ぶ会

活動人数 7人

活動日 毎月第2月曜日

活動内容 甲佐町民俗資料館の民具資料のクリーニング及びメンテナンス
甲佐町民俗資料館の民具資料の台帳作成
甲佐町民俗資料館の展示の充実



甲佐民具を学ぶ会

⑧ 生き物クラブ

活動人数 13人

活動日 奇数月の第4土曜日

活動内容 県内の身近な生きものの観察や撮影を行う。



生き物クラブ

(9) 学校移動展示用パッケージ

事業目的

博物館ネットワークセンターにある実物資料を活用し、学校の教育課程と重ね合わせて作成した移動展示用パッケージを、各教育事務所や学校に配置し、授業やイベント等の展示に活用する。

小中学校

熊本市以外の各教育事務所及び山鹿市教育委員会に配置し、各学校への運用を依頼。

小学校は2種類、中学校は4種類、計6種類

高等学校

生物分野を8校、地学分野を1校に配置し、運用を依頼。

生物分野は、日本のバイオームを5校に、外来生物を3校に配置。

地学分野は、3種類を1セットとして配置。

(令和7年(2025年)3月31日現在)

学校移動展示用パッケージ (小・中学校用)

熊本県では、県内どこに住んでいても博物館活動に参加できる「熊本県総合博物館ネットワーク」の構築を目指し、熊本県博物館ネットワークセンターを拠点として、企画展示や講座等さまざまな活動を展開しています。

その一環として、熊本県博物館ネットワークセンターでは、学校移動展示用パッケージを作成しています。これは、

当センターが所蔵する、動物標本、植物標本をはじめ、化石・岩石などの標本を活用し、これらの標本に触れ、解説を伴った展示を見ることで、児童・生徒の自然に対する興味・関心を高め、学習内容を深めるきっかけとすることを目的とするものです。

各学校での展示及び理科の授業等での積極的な活用をお願いします。

お問い合わせ先

●学校移動展示用パッケージに関するお問い合わせ
熊本県博物館ネットワークセンター
住所：〒964-8601 熊本市東区東山 1-1-1
TEL：096-4-34-3301
E-mail：hakubutubuse@pref.kumamoto.lg.jp

●運用に関するお問い合わせ
各教育事務所
山鹿市教育委員会

主に小学校向け

身近な生きもの
身近に知られる生きものを生息する環境（樹林、林、水辺）で分類して紹介しています。

●木質バイオーム (3校)
杉、栲、カシ

●水辺バイオーム (3校)
ササガ、アサギ、アサギ、アサギ、アサギ

●植物の不思議 (1校)
アサギ、アサギ、アサギ、アサギ

●動物の不思議 (1校)
アサギ、アサギ、アサギ、アサギ

標本のさまざまな石
県内で採られるさまざまな石の紹介とそれらの石がどこで採られているかを紹介しています。

●山に採れるさまざまな石 (12種)
輝石、角閃石、角閃石、角閃石、角閃石

●化石と植物が固まってできた石 (12種)
化石の植物が固まってできた石 (12種)

●化石 (3校) ●多量 (1校)

学校移動展示用パッケージ (小中学校)

(10) 図書館・公民館等移動展示用パッケージ

事業目的

図書館や公民館などの展示スペースが限られた施設においても小型の移動パッケージを活用し展示することで、博物館活動に対しての県民の興味・関心を高める。

パッケージリスト

郷土玩具 (民俗)、水辺の昆虫たち (動物)、郷土の偉人甲斐有雄さん (歴史)、熊本県で見られる化石～植物編～ (地学)、熊本県で見られる化石～動物編～ (地学)、源氏物語で見られる植物-ミクリ- (植物)、源氏物語で見られる植物-アマモ- (植物)、お買物いまむかし (民俗)、暮らしに残る昔の単位 (民俗)、九州の活火山 (北) (地学)、九州の活火山 (南) (地学)、辛島格と市区改正事業 (歴史)、

図書館・公民館等移動展示用パッケージリスト

熊本県博物館ネットワークセンター

1 パッケージリスト (全2種)

全てのパッケージは、長紙 (幅 180cm) を用いて展示できるようになっています。長紙を1冊に準備ください (準備できない場合はご依頼ください)。

区分	パッケージ名	内容	内容物
1	民俗	郷土玩具 王長良を再現しています	郷土玩具17種 パネル (10冊、6冊)
2	動物	水辺の昆虫たち 県内の水辺に生息する昆虫たちの生態や生活様子を解説しています	水辺の昆虫たち17種 パネル (10冊、6冊)

(11) 歴史分野授業パッケージ

事業目的

熊本県博物館ネットワークセンターが有する歴史資料や専門的知識を学校教育に活用することを目的とする。

パッケージ内容

「古文書に書かれたモノとお金」

- (1)江戸時代の古文書 (2)江戸時代の貨幣
- (3)(1)の複写資料 (4)指導案 (5)授業ワークシート
- (6)単位及びくずし字表 (7)品目表
- (8)博物館ネットワークセンター職員のチーム・ティーチング



(12) リレー講演会

事業目的

一つのテーマについて、県内博物館の学芸員等による様々な観点からの講演会を実施し、県民に多くの視点を提供するとともに、博物館の活動に興味をもってもらう機会とする。なお、対象は一般県民とする。

事業内容

「水の国・熊本」をテーマとして、湧水が育む江津湖の生態系についての解説（熊本博物館）、さらに、菊池川と水運についての解説（玉名市立歴史博物館ころろピア）、県内の水に関する信仰や行事等についての解説（熊本県博物館ネットワークセンター）を各館の学芸員で連続した講演会を実施。

概要

主催 熊本県博物館ネットワークセンター
 共催：熊本博物館、玉名市教育委員会名義後援
 名義後援：熊本県教育委員会、熊本市、玉名市

会場 ①熊本博物館（令和7年（2025年）1月19日）
 ②博物館ネットワークセンター（令和7年（2025年）2月16日）
 ③玉名市立歴史博物館ころろピア（令和7年（2025年）3月16日）

開催期日 令和7年（2025年）1月19日（日）、2月16日（日）、3月16日（日）

参加者数 44人（3日間合計）

講演内容 「湧水が育む江津湖の生態系」
 熊本博物館 学芸員 清水稔 氏
 「菊池川と水運」
 玉名市立歴史博物館ころろピア 技術主任 田熊秀幸 氏
 「熊本の水と祈り」
 熊本県博物館ネットワークセンター 主任主事 樋口和紀



5 資料収集整理活動

(1) 熊本県博物館資料データベース事業

事業目的

熊本県内の博物館等が所蔵する博物館資料に係るデータ管理を効率化するとともに、資料データを共有し、展示や調査研究のための利活用の促進を図る。

事業内容

収蔵資料管理システム、資料情報公開システム及びポータルサイトの運用

参加館等

21館、4市町村、資料登録件数は534,901件
(令和7年(2025年)3月31日現在)

URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイトからアクセス
<https://kumamoto-museum.net/>



(2) 熊本県学芸員等人材データベース事業

事業目的

熊本県内の博物館・資料館等に所属する学芸員、県・市町村教育委員会の文化行政担当者や学校教職員等が有する専門的な知識や技術の調査を行い、その情報をもとにデータベースを作成し、博物館等における調査研究、展示及び講演会等の博物館活動の充実を図る。

事業内容

熊本県学芸員等人材データベースの作成及び関係機関への配付
熊本県学芸員等人材データベース (web版) の作成及び公開 (平成27年10月)

登録者数

160人 (令和7年(2025年)3月31日現在)

URL

熊本県学芸員等人材データベース (web版) 公開ページ
<https://kumamoto-museum.net/human>



(3) 資料収集・整理状況（令和6年度（2024年度））

①動物分野

資料収集点数及び登録点数

分類群	資料点数（概数）	登録点数		計
		乾燥（剥製等）	液浸	
NB11（哺乳類）		277	130	407
NB12（鳥類）		1,055	1	1,056
NB13（両生・爬虫類）		85	328	413
NB14（魚類）		87	2,111	2,198
NB15（昆虫類）		12,729	418	13,147
NB16（クモ・多足類）		21	900	921
NB17（甲殻類）		45	955	1,000
NB18（軟体動物）		6,775	249	7,024
NB19（その他分類群）		19	36	55
合計	91,900	21,093	5,128	26,221

令和6年度の受入資料

アオウミガメ剥製	1点
キュウシュウフクロウ	1点
クロホオヒゲコウモリ	1点
ヒナコウモリ	1点
サメハダマルケシゲンゴロウ	4点
八代高校所蔵鳥類剥製	24点
シベリアイタチ	1点
ヤマドリ（雛）剥製	1点
オオコノハズク	1点
スナメリ	1点
アカミミガメ	1点
キビタキ	1点
ヒミズ	1点
甲殻類巣穴樹脂標本	約10点
ノコギリガザミ剥製	1点
アマミサソリモドキ（幼体）	1点
カヤネズミ（巣）	2点
小型哺乳類液浸標本	4点
職員採集標本約	100点

令和年度の主な整理登録作業

乾燥昆虫標本作成及び登録、干潟の貝類・甲殻類標本作製及び登録、倉永善太郎昆虫標本の整理及び登録、立志徹郎貝類標本の整理及び登録

②植物分野

収蔵資料点数及び登録点数

分類群	資料点数（概数）	登録点数
NB2（植物）		1,512
NB3（菌類）		1,013
NB4（藻類）		756
合計	280,000	3,282

令和6年度受入資料

職員採取資料 約500点

ミュージアムパートナーズクラブ採取標本 約46点

令和6年度の主な整理登録作業

職員採集標本の作成

熊本大学標本、第二高校生物部標本、フェイス女学院生物部標本、玉名高校標本、熊本商業高校標本、森林総合研究所九州支所菌類標本、荒尾弘標本、山城学標本、前原勘次郎標本、松井英司標本、村岡節雄標本、島田彌市標本、ミュージアムパートナーズクラブ標本の同定、調査、清掃、修理等の登録準備作業

上記標本の登録、配架作業

③地質分野

資料収蔵点数

コレクション名	資料点数（概数）	登録点数
今西茂標本	2,600	2,496
長谷義隆標本	10,000	569
アトラスくまもと標本	174	174
荒尾宏岩石標本	103	103
熊本大学理学部地学科進級論文標本	4,833	4,833
河野通幸化石標本	217	217
岩崎泰穎標本	6,500	2,263
津末昭生標本	4,300	0
熊本大学工学部標本	7,026	7,026
熊本大学理学部地学科卒業・修士論文標本	5,040	5,040
熊本大学理学部地学科標本	105	105
村田正文標本	1,100	7
遠藤誠道植物化石標本	600	2
斉藤林次標本	213	213
早田幸作標本	200	14
千藤忠昌標本	1,846	1846
植田和男標本	103	103
フェイス女学院 松本唯一標本	234	234
桂輝雄標本	220	217
田中均標本	8,000	752
多良木高校標本	371	371
永松允積火山灰標本	90	0
村上能治標本	200	0

田中基義標本	800	199
ミュージアムパートナーズクラブ採取標本	380	377
その他（少数寄贈、職員製作など）	1,500	1,334
合計	56,755	28,495

令和6年度受入資料

ミュージアムパートナーズクラブ・個人寄贈・職員採取標本 110点

令和6年度の主な整理登録作業

田中均標本の整理・登録

ミュージアムパートナーズクラブ・個人寄贈・職員採取標本の整理・登録

展示など使用標本の登録

④歴史分野

コレクション名	資料点数	登録点数
熊本市辛島家資料	23,393	2,555
鏡町下山家資料	2,977	0
渡邊祥隆寄贈資料	1	1
不知火町直江家資料	43	43
嘉島町安藤家資料	769	769
牛深市浜田家資料	520	520
齊藤俊三収集資料	1,071	0
高森町久々宮家資料	34	34
高森町瀬井家資料	541	541
西崎俊秋寄贈資料	204	0
熊本市猿渡家資料	1,021	1,021
三角千代子寄贈資料	6	0
高村勇三収集資料	1,480	0
坂口雅流収集資料	1,656	0
吉倉眞収集資料	17	17
高森町安藤家資料	622	622
森下功旧蔵資料	1,142	1,142
福田巧旧蔵資料	18	18
甲斐英子寄贈資料	18	18
田口幸宗寄贈資料	150	0
岩永武男寄贈資料	560	560
松本達也寄贈資料	66	64
西山佳代寄贈資料	6	6
東アサオ旧蔵資料	8	8
手島清士寄贈資料	1	1
八代市竹田家資料	2,676	2,676
池部美恵子寄贈資料	5	5

森内千佐寄贈資料	1	1
高須恒男寄贈資料	6	6
熊本市米村家資料	400	16
村井眞輝寄贈資料	1	1
大野恵子寄贈資料	2	2
緒方満寄贈資料	40	40
太田喜一郎寄贈資料	2	2
廣吉秀澄寄贈資料	6	6
質地証書類	300	0
宇城市坂口家資料	6	6
熊本市本田家資料	36	36
岡本敬喜寄贈資料	2	2
岩成邦忠寄贈資料	1	1
美當一調関連資料	191	191
熊本県文化課収集生産具	5	5
松原ルミ子寄贈資料	3	3
米村靖雄関係資料	31	31
井手和洋寄贈資料	2	2
熊本私立測量学校関係資料	133	133
宇城市本田家資料	192	0
熊本市小夏家資料	494	0
東矢力也寄贈資料	73	73
熊本市河原家資料	3	3
宇城市岡村家資料	1	1
辻あきこ寄贈資料	62	62
宇城市小田家資料	1,300	1,009
江藤政光所蔵資料	16	16
本田力寄贈資料	1	1
上塚穰二寄贈資料	7	7
宇城市森田家資料	47	47
市丸かな子寄贈資料	26	0
宇城市小崎家資料	441	0
熊本市木下家資料	108	0
土原忠信寄贈資料	3	3
村上孝男寄贈資料	1	1
下川寿幸寄贈資料	7	0
中野敬輔寄贈資料	127	0
北川直子寄贈資料	5	5
佐藤美知男寄贈資料	19	19
厚生労働省移管資料	1	1

古家克彦寄贈資料	24	0
美里町坂口家資料	70	0
岡部隆寄贈資料	8	0
その他（購入等）	170	170
合計	43,379	12,525

令和6年度（2024年度）受入資料

宇城市本田家資料 192点 厚生労働省移管資料 1点 古家克彦寄贈資料 24点
 美里町坂口家資料 70点 岡部隆寄贈資料 8点 新型コロナウイルス感染症関連資料 122点
 下益城郡河江手永圖 1点

令和6年度（2024年度）の主な整理登録作業

熊本市辛島家資料、緒方満寄贈資料、宇城市小田家資料、北川直子寄贈資料、佐藤美知男寄贈資料、
 厚生労働省移管資料、その他（購入等）の整理・登録
 熊本市米村家資料の整理

⑤民俗分野

資料収集点数及び登録点数

大分類	小分類	資料点数(概数)	登録点数
衣食住	衣	1000	497
	食	1030	837
	住	420	374
生産生業	自然物採集	17	17
	農業	690	681
	山樵	132	130
	採鉱・冶金	10	10
	漁撈・製塩	188	188
	狩猟	10	10
	養蚕・畜産	200	194
	繊維	105	87
	諸職・手工芸	420	393
交通交易	交通	230	178
	交易	160	106
社会	社会	60	39
信仰	神社	30	13
	寺院	60	46
	民間信仰	30	26
民俗知識	教育	230	151
	医療	80	62
	暦	15	10
	卜占	0	0
芸能娯楽	民俗芸能	0	0
	競技	10	0
	娯楽	430	184

儀礼	年中行事	57	57
	人生儀礼	110	46
小計		5,724	4,336
写真資料		154,400	83,619
合計		160,124	87,955

令和6年度(2024年度)受入資料

畳表手織り機等 5点、個人寄贈生活道具等約100点

令和6年度(2024年度)の主な整理登録作業

木下家資料、小崎家資料、白石巖写真資料

6 資料

(1) 令和6年度(2024年度)職員一覽

所長	森	英樹	
参事	國本	信夫	(民俗)
参事	後藤	鮎子	(歴史)
参事	高田	聖也	(地質)
参事	松藤	加代子	(植物)
主任主事	免田	隆大	(動物)
主任主事	樋口	和紀	(民俗)
博物館活動囑託	迫田	久美子	(民俗)
博物館活動囑託	前田	哲弥	(植物)
博物館活動囑託	廣田	志乃	(地質)
博物館活動囑託	中藺	洋行	(動物)
博物館活動囑託	古澤	宏大	(歴史)
資料整理囑託	安田	晶子	(植物)
資料整理囑託	堤	将太	(歴史)

(2) 熊本県博物館ネットワークセンター条例

○熊本県博物館ネットワークセンター条例

(平成27年3月20日条例第10号)

改正 平成31年3月22日条例第8号

熊本県博物館ネットワークセンター条例をここに公布する。

熊本県博物館ネットワークセンター条例

(設置)

第1条 県内の他の博物館等(博物館及び学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する機関又は団体をいう。以下同じ。)との連携の下、本県の自然、歴史等に関する情報の収集等を行い、これによって得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること等により、県民の生涯学習の機会を増大させ、もって県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、熊本県博物館ネットワークセンター(以下「ネットワークセンター」という。)を設置する。

(位置)

第2条 ネットワークセンターは、宇城市に置く。

(業務)

第3条 ネットワークセンターは、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 県内の他の博物館等との連携体制の構築に関すること。
- (2) 自然、歴史等に関する資料の収集を行うこと。
- (3) 前号に掲げる業務により収集した資料の整理保管及び調査研究を行うこと。
- (4) 前2号に掲げる業務により得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること。
- (5) 多目的広場及び多目的広場管理棟会議室(以下「多目的広場等」という。)を提供すること。
- (6) 県内の他の博物館等の活動の支援に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、第1条に規定する目的を達成するために必要な業務

(職員)

第4条 ネットワークセンターに、所長及び必要な職員を置く。

(休館日)

第5条 ネットワークセンターの休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条の規定により休日とされる日(以下この号において「休日」という。)に当たるときは、その日以後の休日以外の最初の日)
 - (2) 12月29日から翌年1月3日まで(前号に該当する日を除く。)
- 2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の休館日を変更し、又は別に休館日を定めることができる。

(開館時間)

第6条 ネットワークセンターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の開館時間を変更することができる。

(使用の許可)

第7条 多目的広場等を独占して使用しようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

2 知事は、前項の許可をする場合において、管理上必要な条件を付することができる。

(使用の許可の基準)

第8条 知事は、前条第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) ネットワークセンターにおける公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

- (2) ネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (3) その使用が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。
- (4) その他使用させることがネットワークセンターの管理上支障があると認められるとき。

（許可の取消し等）

第9条 知事は、第7条第1項の許可を受けた者（次条第1項において「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するとき、又は管理上支障があると認めるときは、第7条第1項の許可を取り消し、若しくは変更し、又は多目的広場等の使用を停止させることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 第7条第2項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。
- (4) 前条第3号に該当することとなったとき。

（使用料）

第10条 使用者は、別表に定める額を使用料として納めなければならない。

- 2 前項の使用料（以下「使用料」という。）は、前納とする。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。
- 3 既納の使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（使用料の減免）

第11条 知事は、特別の事情があると認めるときは、使用料の全部又は一部を免除することができる。

（指定管理者による管理）

第12条 ネットワークセンター（多目的広場等に限る。以下この条から第15条までにおいて同じ。）の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

- 2 前項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合は、第5条及び第6条の規定にかかわらず、当該指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、ネットワークセンターの休館日を変更し、若しくは別に定め、又は開館時間を変更することができる。
- 3 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合における第7条から9条までの規定の適用については、これらの規定中「知事」とあるのは、「指定管理者」とする。
- 4 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前にされた第7条第1項（前項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可の申請は、当該指定管理者にされた許可の申請とみなす。
- 5 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前に第7条第1項（第3項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可を受けている者は、当該指定管理者の許可を受けた者とみなす。

第13条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第3条第5号に掲げる業務
- (2) 第7条第1項の許可に関する業務
- (3) ネットワークセンターの維持管理及び修繕に関する業務
- (4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者がネットワークセンターの管理上必要と認める業務

（利用料金）

第14条 第10条第1項の規定にかかわらず、第12条第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合には、前条各号に掲げる業務のほか、当該指定管理者にネットワークセンターの利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を収受させることができる。

2 利用料金の額は、別表に定める額に1.3を乗じて得た額を上限として、指定管理者が知事の承認を得て定める額とする。

3 指定管理者は、あらかじめ知事の承認を得て定めた基準により、利用料金の減免又は還付をすることができる。

（原状回復義務）

第15条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は地方自治法第244条の2第11項の規定によりその指定を取り消され、若しくは期間を定めてネットワークセンターの管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなったネットワークセンターの施設及び設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

（損害賠償）

第16条 故意又は過失によりネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事が特別な事情があると認めるときは、損害賠償義務の全部又は一部を免除することができる。

（雑則）

第17条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

（罰則）

第18条 詐欺その他不正の行為により使用料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料に処する。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。ただし、第3条第5号、第7条から第15条まで、第18条及び別表の規定は、平成27年10月1日から施行する。

附 則(平成31年3月22日条例第8号)抄

（施行期日）

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。ただし、附則第4項の規定は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2 第1条から第4条まで、第6条から第8条まで、第10条から第25条まで及び第28条から第30条までの規定による改正後の藤崎台県営野球場条例、熊本県漁港管理条例、熊本県財産条例、熊本県港湾管理条例、熊本県道路占用料徴収条例、熊本県立学校体育施設の使用に関する条例、熊本武道館条例、熊本県立美術館条例、熊本県身体障害者福祉センター条例、熊本県有料駐車場管理条例、熊本県立劇場条例、熊本県伝統工芸館条例、熊本県立総合体育館条例、熊本県野外劇場条例、熊本県農業公園条例、熊本県立装飾古墳館条例、熊本県環境センター条例、熊本県総合福祉センター条例、熊本産業展示場条例、熊本県立青少年の家条例、熊本県総合射撃場条例、熊本県天草飛行場条例、熊本県流水占用料等徴収条例、くまもと県民交流館条例、熊本県運転免許センター運転免許試験コース使用料徴収条例及び熊本県博物館ネットワークセンター条例（以下「改正後の使用料等条例」という。）の使用料及び占用料に関する規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用、占用又は利用に係る使用料又は占用料について適用し、施行日前の使用、占用又は利用に係る使用料又は占用料については、なお従前の例による。

4 改正後の使用料等条例(第 25 条の規定による改正後の熊本県流水占用料等徴収条例を除く。以下この項において同じ。)の使用料及び占用料については、施行日前においても、改正後の使用料等条例の使用料又は占用料に関する規定の例により、改正後の使用料等条例に定める額を徴収することができる。

別表(第 10 条、第 14 条関係)

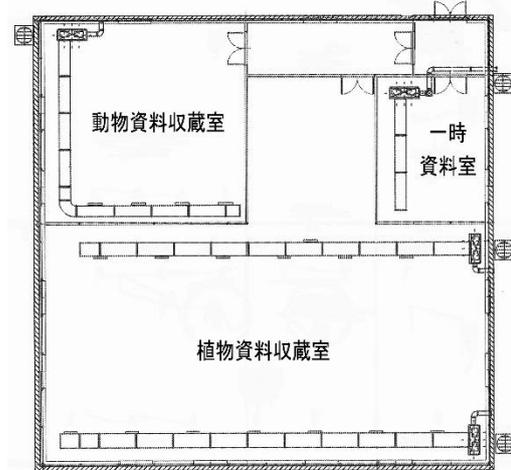
区分		単位	金額
多目的広場	東面	1 時間につき	710 円
	西面	1 時間につき	810 円
多目的広場管理棟会議室		1 時間につき	100 円

備考 使用する時間に 1 時間未満の端数があるときは、その端数を 1 時間とみなす。

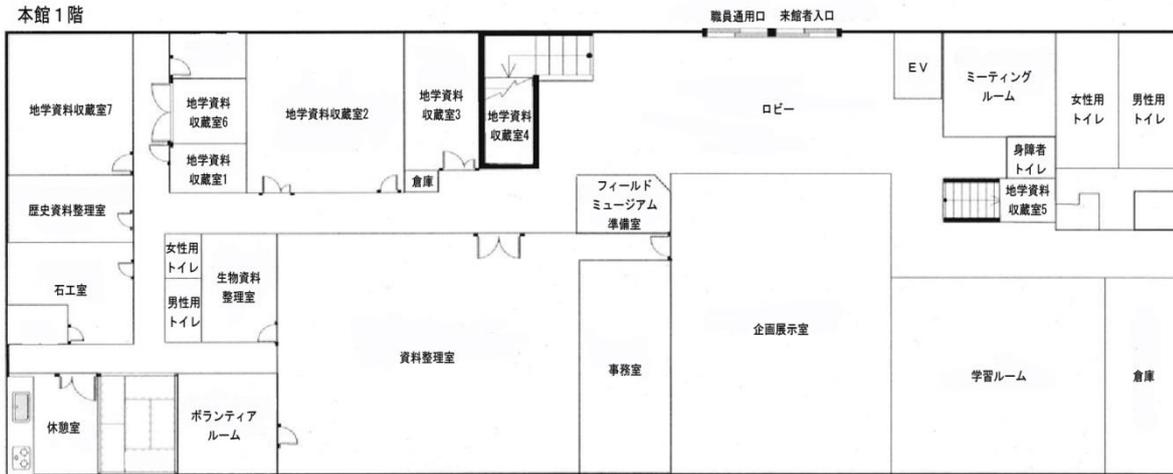
(3) 施設平面図

敷地概要	所在	宇城市松橋町豊福 1695
	面積	61,917.40 m ²
建物概要	本館	構造 RC造2階建
	建築面積	1643.30 m ²
	延床面積	2889.27 m ²
	収蔵棟	構造 RC造平屋建
	建築面積	493.63 m ²
	延床面積	480.26 m ²

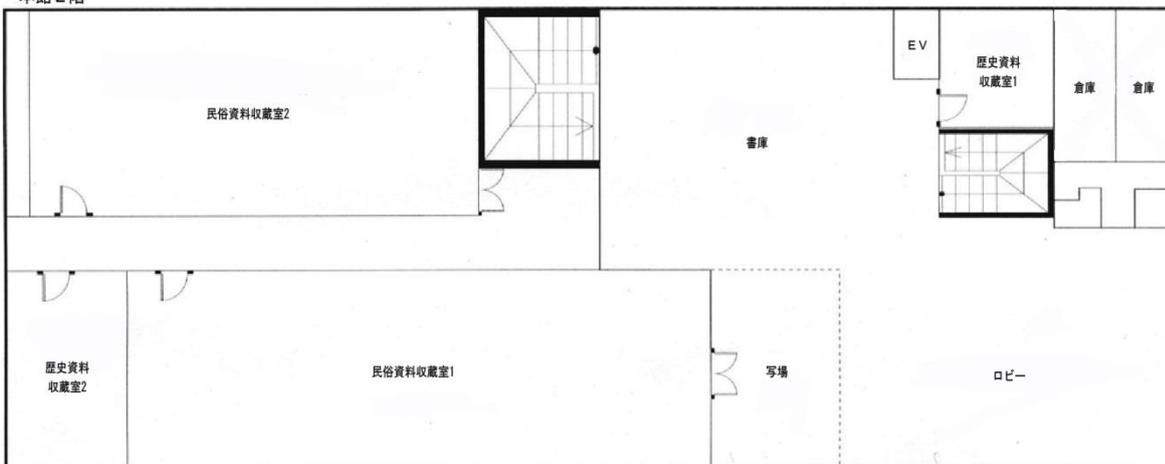
収蔵棟



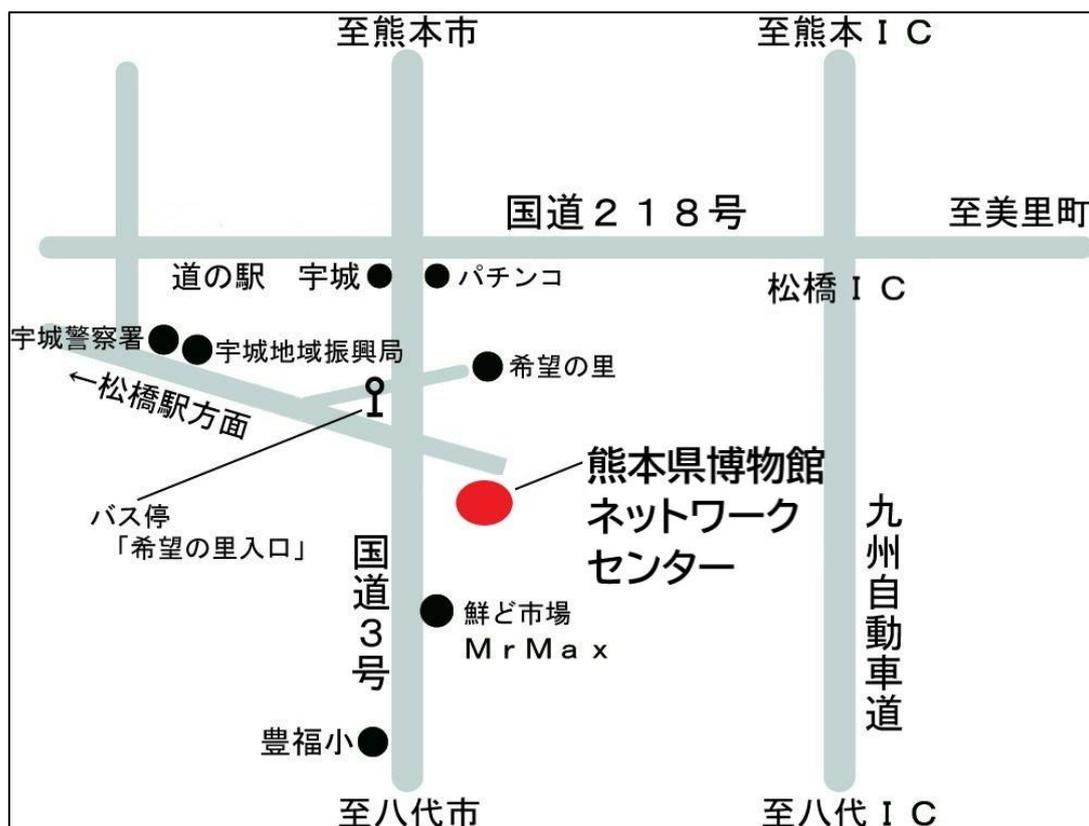
本館 1階



本館 2階



(4) 熊本県博物館ネットワークセンターへのアクセス



開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

交通案内 九州産交バス「希望の里入口」下車 徒歩3分

JR松橋駅より約3km

U R L <https://kumamoto-museum.net/kmnc/>

E-mail hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

令和6年度（2024年度）熊本県博物館ネットワークセンター活動報告書

編集・発行 熊本県博物館ネットワークセンター
(ISIL: JP-2004104)

〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 1695

電話 0964-34-3301

発行日 令和7年（2025年）6月2日

発 行 者 熊本県
所 属 熊本県博物館ネットワークセンター
ISIL 番号 JP-2004104
発行年度 令和7年度（2025年度）